

平成14年度 杉並区政策評価表A(分野)

分野名	自律 教育分野		分野番号	5		
分野担当部	教育委員会事務局		関連部	区民生活部		
分野の目標 (分野戦略計画)	担当部の果たすべき役割	杉並区21世紀ビジョン「杉並区教育目標・基本方針」を推進し、未来を担う子どもたちが楽しく学び思いやりとたくましく生きる力を育むことのできる教育の実現すること及び区民一人ひとりの生涯にわたる自主的、主体的な学習・スポーツ活動の発展と地域教育力の向上や地域社会の形成を目指す。				
	長期的目標	21世紀ビジョンの施策の基本指針「生涯にわたって学びあふまち」さらに「子どもたちを、社会の一員としての役割を果たせる人、創造力豊かに自ら学び考え行動する人、人間性豊かな心をもつ人に育てる教育の推進」という教育目標を踏まえ、多岐にわたる教育行政をわかりやすく整理し地域ニーズを反映したより身近で開かれた教育を目指し、教育改革を推進する。				
	当面の達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の学力レベル(学習定着度)を85%以上に向上させる。</li> <li>不登校児童生徒数を200人以下に低下させる。</li> <li>教育改革アクションプランの計画事業103項目を推進する。</li> </ul>				
分野を取り巻く環境	現在の状況	新しい教育課程のスタートに伴い、学校週5日制などの社会的背景から、学校サポーター制度、民間人講師の活用、フレッシュ補助教員等、地域や民間活力等を取り入れた動きが始まっている。全国的に児童生徒の学力低下が指摘されている。				
	区民等の意見等	杉並区の新たな取り組みについては、区民から様々な意見が寄せられている。学校サポーターや学生ボランティア等は協力者の応募も多く好評である。また、民間人講師など、区民以外のマスコミからの問い合わせが多く寄せられた事業もあった。				
杉並区政策指標(エックリス)の状況	指標名	単位	指標値			目標値
			11年度	12年度	13年度	平成17年度末
	児童生徒の学力レベル(学習定着度)	%			小学生83.7 中学生76.3	85%以上
	ボランティアに参加したことがある区民の割合	%			24.0	高くする
	不登校児童生徒数	人	263	250	241	200人以下
	いじめられている子の味方になったことがある子どもの割合	%			小学生36.5 中学生22.8	高くする
区民一人あたりの文化的時間	時間(平均)			平日2時間19分 休日3時間41分	10%長くする	
分野コスト	項目	単位	11年度	12年度	13年度	特記事項
	事業費	千円				○不登校児童生徒数の目標値について、長期的目標としては0人であるが、平成17年度末までの目標として200人としている。
	(内)委託費	千円				
	職員数(正規   非常勤)	人   人				
	人件費	千円				
	総事業費(+)	千円				
財源 国・都からの支出金	千円					

目標達成率	指標1	指標2	指標3	指標4	指標5
	小学生 98.5% 中学生 89.8%		83.0%		
指標の変化と目標達成の状況	<p>・児童生徒の学力レベルは、小学生については都の平均数値を上回る結果が出ているものの、中学生については都の平均数値とほぼ同水準となっている。</p> <p>・不登校児童生徒数については、杉並スクールサポート(不登校学校別専門相談事業)、杉並ふれあいフレンド(不登校家庭訪問事業)などの各不登校対策事業の効果により年々5%程度減少しつつある。</p>				
総合評価	<p>各施策、事務事業を展開しているが、不登校対策事業のように年々指標数値が改善されてきているものもあれば、施策指標の体力診断テストの指標数値のように全国平均を下回るものがあることも事実である。各種指標や様々な統計などを注視した効率的・効果的な施策・事務事業の展開が必要である。また、学校教育と社会教育の連携、様々な施策の体系化、実行すべき施策の計画目標を定めた教育改革アクションプランは、実施してまだ間もないことから現時点でその実績をつぶさに検証することは困難であるが、現在取り組んでいる事業には区民等から様々な意見が寄せられており、その多くは協力的なものが多い。とりわけ、学校サポーター制度、学生ボランティア制度など区民が直接参画する事業には応募・協力者が大変多く、また、民間人講師やコーディネーターの配置などに関しては区民のみならずマスコミからの問い合わせが多数寄せられている。このような区民等からの反響及び各学校の反応等からみると、教育改革アクションプランは概ね良好に推進していると判断できる。</p>				

今後の分野戦略計画のあり方	(1)今後の分野戦略計画の方向	<p>学校や地域、学校教育と社会教育との連携を密にし、教育改革アクションプランを軸に杉並区の教育目標・基本方針を推進し、「魅力ある学校教育」「地域に開かれ、支えられた教育」「生涯学習の推進」等の政策を展開していく。</p>
	(2)分野戦略計画を達成するための課題	<p>地域と学校、学校教育と社会教育は連携という部分で若干弱い部分がある。個々の事業の推進だけではなく、他との連携を深めながら総合的に分野目標を達成する。</p>
	(3)重点政策	<p>魅力ある学校教育のために 地域に開かれ、支えられた教育のために</p>

分野を構成する政策						
政策番号	重点政策	政策名	政策コスト(総事業費 - 千円)			特記事項
			11年度	12年度	13年度	
13		魅力ある学校教育のために	14,500,577	14,202,631	14,885,782	
14		地域に開かれ、支えられた教育のために				
15		生涯学習の推進のために				
16		地域文化の創造のために				
17		ふれあいと参加の地域社会をつくるために				
分野合計						

平成14年度 杉並区政策評価表B(政策項目)

政策名	魅力ある学校教育のために		政策番号	13				
政策担当部	教育委員会事務局		関係部					
政策の目標 (政策戦略計画)	政策目的	杉並区の教育目標の柱である「社会の一員としての役割を果たせる人」創造力豊かに自ら学び、考え、行動する人」「人間性豊かな心をもつ人」を育成するため、「子ども達一人一人がかけがえのない存在として認められ様々な人に支えられながら自分の未来を見出し未来を切り拓く基礎を培う場」、「生き生きと学び思いやりの心とたくましく生きる力を育む場」としての学校「園づくり」を推進し、魅力ある学校教育を実現する。						
	当面の達成目標	教育改革アクションプラン103項目の推進 ・フレッシュ補助教員及び民間人講師の活用・教職員研修の充実で魅力ある教科指導を実現することにより学習内容の理解度を80%に向上する。 ・不登校対策事業の充実により不登校児童・生徒を200人以下まで低下させる。 ・上記の他、政策全般の事業を推進し魅力ある学校を実現することにより公立在籍率を小90%中70%に向上させる。						
政策を取り巻く環境	現在の状況	「教育アクションプラン」で策定された103項目の事業を推進することにより各学校の魅力ある学校づくりを支援している。また、国際化・少子化・情報化などの社会状況の激しい変化に対応できる様々な教育改革を国・都も打ち出している。						
	の区民等	教育内容に関すること、教員に関することなどについて区民からの意見がある。とりわけ、生徒の評価方法(相対評価から絶対評価に変更した)や学校週5日制に関する意見が多い。また、教育改革アクションプランに関連する事項としては、フレッシュ補助教員・学生ボランティア・学校サポーターなどの人的措置に関する感謝の意見が多い。						
政策コスト	項目	単位	11年度		12年度		13年度	
	事業費	千円	7,255,546		7,237,177		8,220,579	
	(内)委託費	千円	867,187		758,612		830,996	
	職員数 (正規   非常勤)	人   人	694.66	319.60	659.76	333.13	623.17	340.51
	人件費	千円	7,245,033		6,965,458		6,665,205	
	総事業費(+)	千円	14,500,577		14,202,631		14,885,782	
	(財源)国・都等からの支出金	千円	477,325		490,340		463,507	
政策の総合評価	目標の達成状況	教育改革アクションプラン103項目の事業を現在推進中である。また、14年度開始の事業であるため、達成状況を具体的に数値化することは困難であるが、PTAや学校等からの反響からみるとその推進状況は概ね良好であると判断できる。 ・児童・生徒の学力レベルは目標値である85%を若干下回っている。 ・不登校児童・生徒数は13年度現在241人であり、約83%の達成率だが、年々5%程度減少しつつあり、事業効果が表れていると考えられる。 ・公立在籍率は13年度現在小99%中66%となっている。とりわけ、中学校の在籍率を向上させる必要があると考えている。 ・その他、情報教育分野の充実(学校パソコンの1人1台化、インターネット全校全台接続)や学校緑化の推進、フレッシュ補助教員等の配置等々、子どもたちの学習環境は改善されつつある。また、従来横並び傾向にあった学校・園の経営が、新たな教育目標、教育改革アクションプラン、学校評議委員会、学校希望制度等の導入で改革されつつある。						
	コスト評価	・この政策全体の費用対効果は杉並の教育の質を向上させる上で大きい。しかし、個々の施策については、それぞれ精査し、他の施策や事務事業との連携・効率化を図っていかなくてはならない。 ・総事業費は対前年度比約4.8%増加しているが、人件費については定数削減及び事務の効率化を推進したことにより対前年度比約4.3%(約3億円)の減となっている。また、11年度比で見ると、約8%(5億8千万円)の減となった。						
	総合評価	学校希望制度導入、教育改革アクションプラン等の実施に伴ない、「子どもたちの学習環境を改善する」という視点で初年度としてはかなりの成果が上がった。しかし、様々な要因で取組みに差があり、学校間の格差が出ていることも事実である。取組みの差を是正し、杉並の公立学校全体の質を向上させて行くことが、課題である。						

今後の政策戦略計画のあり方	今後の政策戦略計画の方向	教育改革アクションプランと各学校の改善計画をより一層推進する。
	政策戦略計画を達成するための課題	教育委員会と学校の動きに温度差がある。学校が主体的に改善に取り組むためには、管理職の強いリーダーシップが必要である。そのために、校長 教頭の経営能力を向上させることが不可欠である。
	重点施策	豊かな学校教育づくり
	費用対効果の高い施策	多様な教育機会の提供
	見直し施策	豊かな学校教育づくり 多様な教育機会の提供 就学のための経済的支援

政策を構成する施策						
施策番号	見直し施策	施策名	平成12年度 総事業費(千円)	平成13年度 総事業費(千円)	13年度 指標値	施策指標名
52		教育施策の総合的推進	89,960	98,986	-	-
53	○	豊かな学校教育づくり	636,287	782,631	小14.5% 中15.2%	中学校の学習内容を理解している生徒の割合(14年度参考値:77%) 学校希望制度申請者割合
					小89% 中66%	公立学校在籍率(小・中学校)
54		児童・生徒の健康維持及び安全の確保	406,355	437,182	小100.02 中98.66	体力診断テストで全国平均を100とした時の杉並区の数値
					0.33件	診断時の児童・生徒の平均疾病数(虫歯を除く1人あたり)
					92件	学校内事故数
55		教育施設の整備・充実	2,078,310	2,159,405	35.3%	学校耐震強化済割合
					142教室	余裕教室活用数
					-	校地内の緑の率
56		学校教育の環境整備	9,382,651	9,417,196	約10.6万円	児童、生徒1人あたりの運営費
					31.2人	1クラスあたりの児童・生徒数
					374人	1施設あたりの児童・生徒数
57	○	多様な教育機会の提供	304,905	729,178	228人	心障学級(健康学園を除く)、区立養護学校に就学している児童、生徒の数
					100%	適応指導教室入室者の進路決定率
					163人	情緒障害学級等通級指導学級に通う児童、生徒数
58	○	就学のための経済的支援	1,304,163	1,261,204	15,965人	教育のための経済的支援を受けている幼児、児童、生徒の人数
					-	-
					-	-